



地域・駅・新幹線ニュースレター

はっしん！新青森



青森県立青森西高等学校



青森大学

2022年7月20日(水)
第33号 【FREE】

青森大学・青森西高等学校

高大連携事業

協力：JR 東日本新青森駅

青森大学社会連携センター

新青森駅 第6代

澤村駅長が着任

「地域の宝を磨き上げたい」

新青森駅に7月1日、澤村郁子駅長(49)が着任しました。前任の工藤富士雄駅長からバトンを受け継ぎ、第6代駅長として東北新幹線・北海道新幹線のターミナルの指揮を執ります。同駅では初の女性駅長です。

澤村駅長は岩手県二戸市出身。JR 東日本に入社後、主に旅行商品の造成や観光分野の業務に携わってきました。仙台、東京、盛岡での勤務を経て、2019年8月から2022年6月まで、故郷・二戸駅の駅長を務め、駅長としては新青森駅が2つ目の勤務地となります。

小さなころは「いくべえ」というニックネームで呼ばれたことがあったといい、青森県の観光マスコミ

キャラクター「いくべえ」に親近感を抱いたそうです。「今年は鉄道開業150周年＆新幹線YEAR2022です。さらに、7月に北東北三県大型観光キャンペーンが始まり、今年は3年ぶりに青森ねぶた祭も開催されます。安全・安定輸送に努めながら、三内丸山遺跡、温泉といった地域の宝を磨き、仙台や盛岡、東京とのきずなも活用して、社員と一緒に盛り上げていきたい」

毎年続けている書き初めで、今年は座右の銘として「変わる勇氣、変えるチカラ」を書いたといいます。「近年、急激な環境の変化が人々を巻き込んでいます。新たな生活様式を取り入れながら、私自身も新しい環境

で輝いていきたい」ときっぱり。

着任直後、大型観光キャンペーンのオープニング・

セレモニーで青森県立青森西高等学校「おもてなし隊」の元気に圧倒されたとのこと。「みんなで笑顔になれるよう、地域の皆さまとともに地域を盛り立てていければ」と話していました。



青森西高校「青西おもてなし隊」がゆく③③

青森駅・新青森駅で本格活動再開

青森県立青森西高校「青西おもてなし隊」の生徒たちが7月2日、新青森駅で開かれた「北東北三県大型観光キャンペーン」のオープニング・セレモニーで記念品の配布を行いました。また、翌3日には青森ねぶた祭の「跳ね人」姿で、青森駅を発する記念列車の見送りや出迎えに活躍しました＝写真中央。コロナ禍による長い中断を挟み、現在の在校生にとっては初めての本格的な活動とあって、参加した生徒たちは大きな手応えを感じた様子でした。

オープニング・セレモニーには三村申吾青森県知事、奈良秀則・青森県観光連盟理事長、新青森駅の澤村郁子駅長らが参加しました。3人の生徒たちが「おもてなし隊」のはてんてんに身を包み、3本の新幹線で到着した利用者らに記念品を配りました。

3日の青森駅の活動には7人が参加、同校の家庭ク

ラブが2年前に考案・作成した「ワンタッチハネト浴衣」に身を包み、JR ねぶた囃子会の演奏に合わせて、「跳ね人」の跳躍を披露しました。最初は気後れした様子でしたが、生徒たちはすぐに雰囲気慣れ、特急「はつかり」の国鉄色塗装を再現した特別列車＝写真右＝の出発を元氣よく見送りました。さらに、同じくかつて運転していた急行「津軽」をモチーフにした列車の



蟹田～龍飛崎 500円で移動 わんタク デマンド型乗合タクシー、9月まで運行

JR 東日本盛岡支社など4社が9月末まで、津軽半島の今別町の一部と外ヶ浜町の蟹田・大平地区、三厩地区で、予約制の乗合タクシー「わんタク」を運行しています。Web または



「わんタク」は「わんど(＝私たち)のタクシー」の略で、JR 東日本盛岡支社とJR 東日本スタートアップ株式会社、株式会社電脳交通、有限会社奥津軽観光が運行しています。日中の時間常、30分間隔で予約でき、エリア内の指定した場所から世界遺産・大平山元遺跡、今別町中心部、さらに龍飛崎灯台や階段国道、青函トンネル記念館といったJR 津軽線一帯の観光スポットなど、好きな場所まで乗車できます。地元タクシー会社によると、通常のタクシー利用なら1万

到着を出迎えました。観光客らは盛んに、その姿を画像を収めていました。

1年生の男子生徒は「これから夏祭りが始まります。多くの観光客が来県

することを楽しみに、今後このような活動に参加したい」と語りました。とても緊張していたという1年生の女子生徒は「おもてなし隊に入って初めての大きな活動。観光客の皆さんやJRの方々も喜んでくれて、うれしかった」と振り返りました。

3年生の女子生徒は「2、3年ぶりのハネトで大変楽しかった。JR ねぶた囃子会の囃子を隣で聞くことができ、たくさんの方に喜んでもらえたり、手を振ってもらったり、最高の1日に」と感動をかみしめていました。



北東北三県大型観光 キャンペーン開幕

三内丸山遺跡

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は 2021 年 7 月、世界遺産に登録されました。その 1 周年に当たり、17 構成資産の中核である三内丸山遺跡で 7 月 16 日（土）から 31 日（日）まで、記念企画「さんまる世界遺産ウィーク」が開かれています。期間中の土・日・祝日は観覧料が無料になります（特別展は除く）。

7 月 16 日に開幕した特別展「北海道・北東北の JOMON」は、世界遺産の構成資産をはじめとする北海道、青森、岩手、秋田各県の縄文遺跡の出土品約 200 点をそろえ、共通の特徴、特に生業やまつりについて分かりやすく紹介しています。重要文化財 20 点、道県指定文化財 24 点、市町指定文化財 10 点と貴重な出土品を多数、見ることができます。

「さんまる世界遺産ウィーク」

観覧料は一般 900 円、高校・大学生は 450 円、中学生以下無料です。特別展観覧料金で遺跡を含む常設展も見ることができます。

7 月 23 日（土）・24 日（日）には、三内丸山縄文夏祭りが開かれます。

翌週の 7 月 30 日（土）には、世界遺産登録 1 周年記念青森フォーラムが開催されます。

午前の部は世界遺産登録 1 周年記念講座（さんまる縄文学講座併催）が開かれ、「世界遺産登録 1 周年記念～世界遺産登録をふりかえる～」と題して、岡田康博・三内丸山遺跡センター所長が講演します。

午後は、各構成資産の担当者による意見交換を行います。

登録 1 周年記念

観覧時間は、9 月 30 日（金）まで、午前 9 時から午後 6 時まで延長されています。入館は閉館 30 分前までです。また、7 月 25 日（月）は休館です。



青森県立美術館

今年も「ナイトミュージアム」

コレクション展「サマータイム・サマータイム」
企画展「ミナ ペルホネン／皆川明 つづく」

青森県立美術館で今年も「ナイトミュージアム」が始まりました。開館時間を午後 8 時まで延長、ゆったりとした時間が流れる夕暮れの館内で、いつもと違った表情を感じさせる展示物を見ることができます。実施日には学芸員が解説するする館内鑑賞ツアー（限定 10 人・要予約）も行われます。

ナイトミュージアムでは、マルク・シャガールが描いたバレエ「アレコ」の舞台背景画を展示する「アレコホール」「アレコ」の無料開放、作品を解説する特別鑑賞プログラムが午後 6 時から 6 時 15 分まで投影されます。また、午後 5 時 15 分、午後 7 時からの 2 回、「ミュージアムコンサート」もアレコホールで開催されます（一部開催日を除く）。

有料エリアでは、「おおもり犬」のライトアップを楽しめるほか、常設展や開催中のコレクション展 2022-2「サマータイム・サマータイム」と企画展「ミナ ペルホネン／皆川明 つづく」を鑑賞できます（いずれも 10 月 2 日・日まで）。

7 月 9 日の第 1 回ナイトミュージアムでは、親子連れなど多くの来場者が薄暮の雰囲気味わいながら、アレコ特別鑑賞プログラムや常設展の奈良美智作品、コレクション展の棟方志功作品を楽しんでいました。



ムページへ。



三内丸山遺跡センター

見学時間 9:00～17:00(入場は閉館の30分前まで)
(6月1日～9月30日は18:00まで)
休 館 日 毎月第4月曜日(祝日の場合は翌日)、12月30日～1月1日
観 覧 料 一般 410円(330円)/高校・大学生等 200円(160円)/中学生以下 無料

※()内は20名以上の団体料金
※特別展は別料金・展示内容により変更する場合があります。
※個人観覧者は、青森県立美術館のチケット呈示で割引特典あり。
(詳しくは各施設のチケットカウンターまでお問合せください。)

〒038-0031 青森市三内字丸山305
TEL.017-766-8282 / FAX.017-766-2365
URL https://sannaimaruyama.pref.aomori.jp



お問合せ

新青森駅 → 三内丸山遺跡センター：循環バス「ねぶたん号」(東口) 約 20 分・300 円、タクシー (南口) 約 10 分・1,000 円前後、徒歩約 30 分
→ 青森県立美術館：「ねぶたん号」(東口) 約 11 分・300 円、タクシー (南口) 約 10 分・1,300 円前後、徒歩約 40 分

Facebook ページ Instagram アカウント

ネット情報＞
Facebook ページと Instagram アカウントを開設し、独自の記事・情報を掲載しています。ご意見をお寄せ



下さい。また、PDF 版を青森大学社会連携センターの Facebook ページに掲載しています。いずれも、右側の QR コードからご覧いただけます。

☆このニュースレターは、青森大学社会学部・櫛引研究室が企画・制作し、文責を負っています。お問い合わせ、ご意見等は下記連絡先へお願いします。

青森県立美術館

開館時間 9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日 毎月第2、第4月曜日(祝日の場合は翌日)
※企画展開催時・展示内容により変更する場合があります。
観 覧 料 一般 510円(410円)/高校・大学生 300円(240円)/小学生・中学生100円(80円)

※()内は20名以上の団体料金
※企画展は別料金・展示内容により変更する場合があります。
※個人観覧者は、三内丸山遺跡センターのチケット呈示で割引特典あり。
(詳しくは各施設のチケットカウンターまでお問合せください。)

〒038-0021 青森市安田字近野185
TEL.017-783-3000 / FAX.017-783-5244
URL https://www.aomori-museum.jp

お問合せ

